

## 学研トルコ劇場～子供達の笑顔の為に～



学研トルコ 代表取締役社長 畑中 慶

### 研究開発 (R & D) に力を入れた組織作りに重視

「ビュー————ツ、バンツ!!!」

オフィスで執務していた私の横の通路を何かのすごい勢いで飛んで行ったかと思うと次の瞬間・・・

「イエー——イ!!!」

とスタッフたちの歓喜の声。(あいつらまた遊んでる!!!)

様子を見に行くとオフィスの長廊下の端から端までペットボトルの水素ロケットを飛ばして遊んでいるのではないかと。しかもいい歳をした大人たちがものすごく楽しそうに騒いでいる。

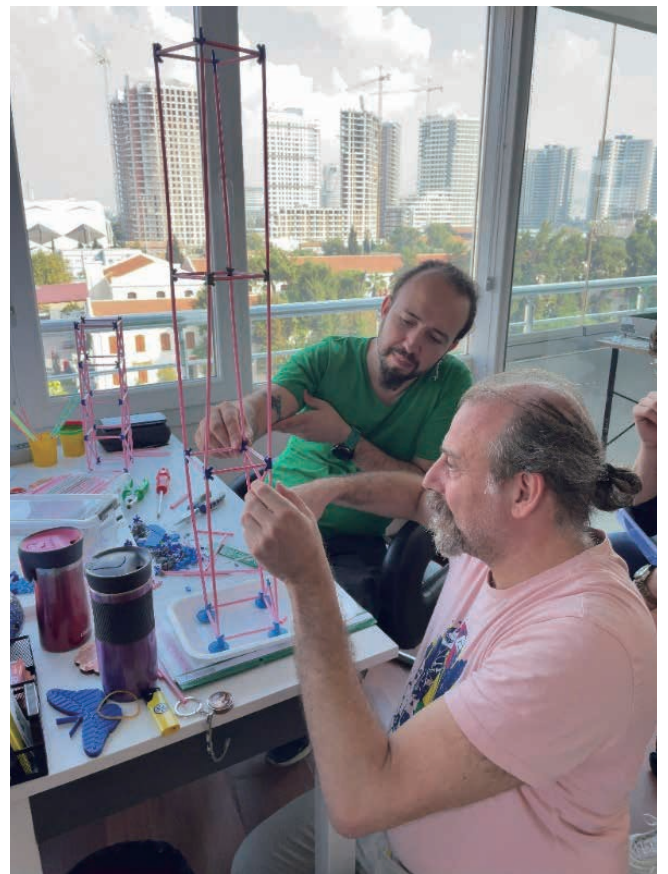
「何してんの? (笑)」とR&Dマネージャのエゲメンさんに声をかけると

「サイエンスショーのコンテンツ作り! ロケット飛ばしたら子供達がめちゃ喜ぶ!」

満面の笑みで答える。そう、学研トルコのオフィスは常にスタッフが『遊んでいる』のだ。成功すれば大騒ぎ、失敗しても大笑い、放っておくと経理やマーケティングのスタッフまで混じって遊んでいた。3Dプリンターで車の模型を作って遊んでいた、静電気発生装置を作って頭を逆毛にして遊んでいた、執務室の足元にスモークを張って遊んでいた、きっと彼等に仕事と遊びの区別はついていないのだろうとさえ思う。日本人スタッフの加奈子さんに聞く。

「あれ、遊んでんの? 仕事してんの?」

「どっちもだと思いますが・・・多分遊んでる! 頑張れ社長! (笑)」と返される。



遊んでいる大人たち  
(震災教育のため耐震構造を理解するコンテンツ作り)

きっと彼女も戸惑う私を見て楽しんでいるのだろう。

学研トルコの正式名称は「Gakken Turkey Innovative Education」、トルコの人達に革新的な学びの場を提供したいという想いで名付けられた。だからこそ我々は創造性を常に大切にするため R&D に力を入れた組織づくりを創業当時から行ってきた。そして何より、自由で革新的な発想を大切にするため日本流のカチツとした組織風土づくりは敢えて放棄した。

## 科学実験教室の導入

その自由闊達な組織である学研トルコが最初に開発したサービスが『科学実験教室』である。トルコでは、子供達が実際に自分の手でトライ&エラーを繰り返しながら行う科学実験の授業が少ない。先生が子供達の前で実験を実演して、答えを教えてしまうスタイルの授業が一般的だったりする。我々学研トルコは子供達に答えを直ぐに教えず、自分達で試行錯誤してもらおう日本式の教育メソッドを広めたいという想いから、私立学校向けに『科学実験教室』のカリキュラム販売を開始した。正式ローンチから三ヶ月経ち評判は上々だ。



実験に驚く子供達



次に何が起こるか教えずに自分達で考えてみる



教員トレーニングの様子



## 学研トルコ版サイエンスショーとトルコ人の底力

ある日のこと、学研トルコにサイエンスショーの依頼が飛び込んできた。これが前段でのオフィス内で水素ロケットを飛ばすという『遊び』の発端なのだが、子供達が大喜びする姿を勝手に思い浮かべてしまった R&D チームのその後の仕事は凄かった。日本の学研がもっていたコンテンツのローカライズ、自分達で考えた新コンテンツ開発など昼夜問わず何度も何度も失敗を重ね、あっという間に学研トルコ版サイエンスショーを創り上げてしまったのだ。

そうして創り上げたサイエンスショーの当日の盛り上がりは写真をご覧頂ければお判りになるだろう。



準備は真剣そのもの



ステージづくりの様子

ここに私はトルコ人の熱量や底力みたいなものを見た気がした。トルコ人は時に目先の利害ではなく、誰かの為にといい気持ちで突き動く人が多いと感じる。彼等は一度心に火が付くと、粘り強く何度でも何度でも挑戦をして決してあきらめない。そこにロジックがあろうとなかろうとお構いなしで、自分達が信じた道を突き進む底力を持っている。我々学研トルコでも売り上げ目標を掲げるより、何人の子供達を笑顔にしたかという目標を掲げた方が、よっぽどうちのスタッフはパッションをもって仕事をするのではないかと本気で思うほどに、彼等は常に誰かの為にといい理由を見つけて仕事をしようとする。



子供達に大人気の空気砲

だからこそ、日々繰り返されるオフィス内のどんちゃん騒ぎや、関係のない部署のスタッフが一緒になって『遊んで』いる姿を見ても苦笑いこそしても止める気にはなれなかったりする。

## 社長の苦戦

ある日、いつものように繰り返される学研劇場の最中、うるさくて仕事にならないとブツブツいいながらパントリーの冷蔵庫を開けた。冷蔵庫の中にラベルの無い自家製らしきビール瓶が沢山入っていた。

（ははあーん、これは発酵の実験だな！！） R&D のチャードシュに聞いた。

「冷蔵庫の瓶ビールは発酵の実験でしょ？」

「違いますよ。趣味のビール造りです。ハタナカサンもどうぞ！」

学研トルコの社長になってもうすぐ一年、未だに彼等の『遊び』と『仕事』の区別がつかずにいる。